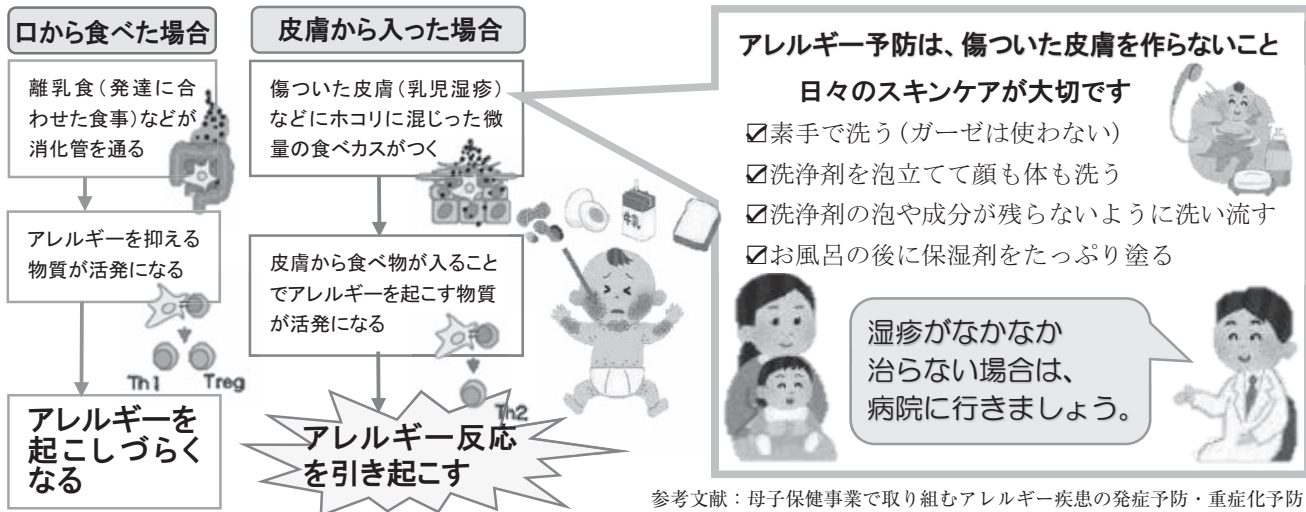


# アレルギー 食物アレルギーの予防はスキンケアから!

同じ食品でも、口から食べるよりも傷ついた皮膚から体に入る方が、アレルギーを引き起こす可能性が高くなります。適切なスキンケアと皮膚トラブルの早期治療により、食物アレルギーの発症を予防しましょう。



問い合わせ先：健康福祉課 健康推進グループ ☎82-5541



町立病院だより

## 昨年10月開設 地域包括ケア病床 安定的な稼働実績

町立病院は令和4年10月、急性期の疾患の治療が終了した入院患者を対象に「地域包括ケア病床」を開設しました。

開設から3カ月(令和4年10月~12月)が経過した現在の状況ですが、地域包括ケア病床12床(全病床48床)の病床稼働率が8割以上となるなど、安定的な実績となっています。

今後もこれまでの急性期段階(病気の初期または急な処置や検査が必要な段階など)に加えて、回復期段階(急性期の段階を終えて、症状が安定し、在宅復帰に向けての診療やリハビリ段階など)にある入院患者の積極的な受け入れに向けて努力してまいります。

問い合わせ先：町立病院 ☎82-2181

## 認知症

### 認知症の人や家族の応援者 認知症サポーター養成講座を受講しませんか

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「応援者」です。

令和4年度の講座受講者は、学生を含む211名となっています。認知症サポーターが増えることは、認知症になっても地域で安心して生活することができる第一歩となります。

希望者が5人以上いれば講座を開催することができます。また以前に受講された方には再研修やステップアップ講座も実施します。興味のある方はぜひ下記担当まで問い合わせしてください。

問い合わせ先：高齢者介護課(地域包括支援センター) ☎82-5560

## 空き家

### 空き家を適正に管理しましょう!



親が亡くなり実家が空き家となった/転勤になった。戻ってくる時期がわからない/独り暮らしをしていたが、高齢になり施設に入ることにした/手入れが負担になり戸建てからマンションへ引っ越した/高齢となった両親が子どもの家で同居をすることになった…。空き家になる事情は実にさまざまです。

空き家になったら、放置せず積極的に管理しましょう。そうすることで傷みを防ぎ、多額の修繕費の発生を防ぎます。

#### 空き家になったらまずすること

##### 空き家のご近所に挨拶をする

空き家になることを告げ、万の一のためにできれば自分の連絡先も伝えておきましょう。定期的に声がけすることで、不法侵入者や不法投棄などの回避にもつながります。ボイラーや太陽熱温水器、浄化槽などがある場合は、業者に相談しましょう。

##### 火災保険に入る

空き家は人が住んでいる家よりも火災などに対するリスクが高くなります。そのためにも空き家になったらまず火災保険に入りましょう。将来的に賃貸や売却を考えている場合は、盗難や水漏れに対応した保険にも入っておけば安心です。

##### 不審者の侵入を予防する

死角が増えると不審者が出入りしやすくなり、防犯上も心配です。生け垣などは定期的に手入れをして、家全体の見通しをよくしておきましょう。人感センサー付きライトの設置も不審者の侵入防止に効果があります。

問い合わせ先：建設課 住宅・指導グループ ☎82-4215